

観光ビジネス学科 シラバスの変更一覧

学年	ページ	科目名
1年	38	韓国語会話 I
1年	48	観光研修 I

学修成果	1	2	3	4	5	科目ナンバリング					
	基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-3-ECO-24					
	●	●									
科目名	韓国語会話Ⅰ				単位認定者	李 美賢		評価の方法	試験(筆記)	70	%
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	選択	1 年	開講時期	後期	単位数	1 単位		授業内課題	20	%
						授業時間数	30 時間		受講態度	10	%
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	本科目は、インバウンドにおいてもアウトバウンドにおいても日本にとって重要な隣国である韓国の言語について、基本的な会話能力の向上を目指す。すなわち日常的な状況で基本的な双方向のコミュニケーションを行いうる程度の基礎的な言語運用能力を養う。そのために必要な語彙・文法・背景となる文化などの講義を交えながら、東アジア圏の有力言語である韓国語の会話能力の獲得・向上を目指す。										
到達目標	韓国語の文字であるハングルの読み方、書き方ができるようになる。基礎的な韓国語の能力（文法、発音）を身につけ、簡単な日常会話ができるようになる。										
学修者への期待等	毎回の学修内容について必ず復習しておくこと。本講では参加型授業を目指しているため、積極的に授業に参加し、発言することが望ましい。										
回	授業計画				準備学修						
1	授業ガイダンスー韓国の言語と文化について				アンケート実施-受講する理由を考えておいてください。						
2	第1課 文字と発音1 ・母音 (1)				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
3	第1課 文字と発音1 ・子音 (1) 鼻音・流音				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
4	第1課 文字と発音1 ・複合母音 (二重母音)				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
5	第1課 文字と発音1 ・終声1 (パッチム)				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
6	第2課 文字と発音2 ・子音 (2) 平音 有声音化・連音化				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
7	第2課 文字と発音2 ・子音 (2) 平音 有声音化・連音化				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
8	第3課 文字と発音3 ・子音 (3) 激音・農音・終声 (2)				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
9	第3課 実践と応用 文字と発音3 ・子音・激音・農音・終声 (2)				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
10	第4課 ①助詞：は ②疑問形：です、ですか ③指示詞：こそあど言葉				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
11	第4課 実践と応用 ①助詞 ③指示詞				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
12	第5課 ①助詞：～が ②疑問形：です、ですか ③否定文：～ではありません。				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
13	第5課 実践と応用 ①助詞 ③否定文				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
14	第6課 ①～に (場所・時間) ②あります・ありません ③位置名詞				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
15	第6課 実践と応用 ①～に ②あります・ありません ③位置名詞				授業で学んだ内容を確認し必ず復習すること(概ね60分)						
教科書	「キムチ1 韓国語入門」山崎玲美奈著, 2022. 1, 朝日出版社										
参考文献	授業内で紹介する。										
備考	・教科書を中心に授業を行うので、必ず持参する。講義で参考資料として配る資料はファイルしておく。 ・提出された疑問については毎回フィードバックを行う。履修状況により, 進度や順番が変更になる場合がある。										

※以下は該当者のみ記載する。

実務経験を有する教員による授業科目（実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性）

学修成果		1	2	3	4	5	科目ナンバリング				
		基礎力	実践力	人間関係力	生涯学習力	地域理解力	TB-4-SEM-07				
		●	●								
科目名	観光研修Ⅰ					単位認定者	高野 宏輝 小里 千寿 吉野 千乃 佐藤 美輪 鎌田 貢治		評価の方法	試験 (レポート)	70 %
対象学科 必修・選択 配当年次	観光ビジネス学科	必修	1 年	開講時期	通年	単位数	1 単位	受講態度		30 %	
						授業時間数	30 時間				
				授業形態	演習	授業回数	15 回				
授業の概要	「観光研修Ⅰ」は学年ごと、あるいは学科全体で実施される学外研修、フィールドワーク、観光施設の見学・視察・体験などを通じた学修を行う。それら学外での学修活動だけではなく、学内における事前学修、事後発表を通して観光に対するさらなる知見の獲得を行い、学修を深化させる。特に1年次では「観光」という事象について集団で学び合い、認識を深める「フィールドワーク入門」としての面も持ち、多角的に観光現象について学修を深める。										
到達目標	観光を学ぶ学生として、研修や体験で得た知識を今後の進路選択に活かせるようになる。 事前研修、体験、事後発表という一連の流れの中で、自らの考えを明確に表現できるようになる。										
学修者への期待等	研修や体験は団体行動となることが多いため、1人1人が短大生としての自覚を持って行動してほしい。また、協調性と同時に積極性を持って研修に取り組む姿勢を期待する。										
回	授業計画					準備学修					
1	近隣施設見学：仙台国際空港					【事前】見学に向けて質問事項を考えておくこと（概ね40分）。					
2						【事後】施設見学の内容をまとめておくこと（概ね40分）。					
3	仙台国際空港:事後学修					【事前】見学時に感じた疑問などをまとめておくこと（概ね40分）。					
4	仙台市のインバウンド政策を知る:事前学修					【事前】インバウンド政策に関する情報を調べておくこと（概ね50分）。					
5	仙台市のインバウンド政策を知る（ゲストスピーカー）					【事前】東北地方のインバウンドに関する情報を調べておくこと（概ね50分）。					
6	手話体験講座					【事前】観光業と手話の関りについて調査しておくこと（概ね1時間）。					
7	手話体験講座：事後学修					【事前】観光業で活用できる技能には、他にどのようなものがあるか考えておく（概ね1時間）。					
8	学外研修:事前学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事前】研修地について調査しておくこと（概ね50分）。					
9	学外研修（2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事後】研修地で学んだこと、体験したこと、知ったことについての資料を整理しておくこと（概ね50分）。					
10											
11	学外研修:事後学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事後】学外研修の内容をまとめておくこと（概ね50分）。					
12	教育文化施設視察 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事前】施設に向けて質問事項を考えておくこと（概ね40分）。					
13											
14	教育文化施設視察：事後学修 （2年：「観光研修Ⅱ」と合同）					【事後】施設見学の内容をまとめておくこと（概ね40分）。					
15	全体のまとめ					【事前】1年間の学修内容をまとめておくこと（概ね50分）。					
教科書	使用しない。										
参考文献	参考資料は随時配布する。										
備考	状況により順番や進度、内容に変更が生じる場合がある。研修をオンラインに変更して実施することがある。授業への疑問等については、次回以降授業にフィードバックを行う。										
※以下は該当者のみ記載する。											
実務経験を有する教員による授業科目(実務経験の概要、実務経験と授業科目との関連性)											